



班長の大失敗

校長 笠原 実

ツツジの花には当たり年があるのか調べてみると、4～5年に一度だったり、雪の多かった冬の後の春は当たり年だったり、諸説あるようです。いずれにしても、花がたくさん咲く周期はあるようです。今年、正門前や職員玄関に上がる階段脇のツツジは、とてもきれいに、たくさんの花が咲いています。学校にいらっしゃる際には是非、御覧になってください。

私が5年生の時でした。個人経営の小さな学習塾に、私は通っていました。その塾が夏休みに合宿を行いました。みんなでバスに乗って出かけ、二泊ほどしながら、午前中は勉強、午後は体験活動をしたのだと思います。活動をする際には、低学年と高学年が一緒のグループになる、いわゆる縦割り班になりました。私はその一つの班の班長になりました。元々目立ちたがり屋な私は、俄然張り切って、下の学年に指示を出していました。今思えば、上から目線でえらぶって、空回りしていたのです。

朝食の時です。グループごとに食事をしていると、2年生くらいの男の子が「いただきます」をしても、全く箸をつけません。「どうしたの？」と聞くと、味噌汁に添えられたミツバを指さして「これ、きれい。」との答え。笠原班長は「食べてみればおいしいかもしれないよ。ひと口でいいから食べてみようよ。」と説得。「がんばれ、がんばれ！」と励ましながら、班長らしいことができた、と思い込んでいました。私の言葉に押されて、その子はひと口、ミツバを口に入れました。その途端、口を手で押さえて走り去ってしまいました。しばらくして戻ってくると「トイレで戻しちゃった。」と、しょんぼりしながら話してくれました。

その後の記憶があいまいですが、「そんなに嫌いだったの？」「ただのわがままだと思っていたのに…。」「先生に言いつけられないかな。」「無理させるつもりはなかったのに、大変なことをしちゃった。」などいろいろな思いが頭の中を駆け巡り、モヤモヤした後味の悪い記憶が今でも残っているのです。

大人になった今、そして教員という立場で、いろいろと考えることがあります。まず笠原班長には、まわりの大人に相談をして欲しかったと思います。また、他の仲間が見ている前で「がんばれ、がんばれ」と言うのは、同調圧力になりかねない、ということ。そしてもし、無理に食べた食材にアレルギーがあった場合、命に関わる危険性があった、ということ。そして笠原班長は、この子をいじめてやろう、という気はなかったということ。いずれにしても、班長として大失敗でありました。

6月は、「いじめ撲滅強化月間」です。各クラスで「いじめ」について考える時間を設けます。私は、講話朝会で「いじめ」について全校に向けて話をします。いじめは絶対に許されないこと、相手の身になって考えることがいかに大切であるかということ伝えていきたいと思っています。保護者・地域の皆様にも、御理解と御協力をお願いします。